

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月20日

石川県知事 馳 浩 殿



提出者

住所 石川県能美郡川北町字橋レ103番地
氏名 中島建設株式会社
代表取締役 中島俊幸

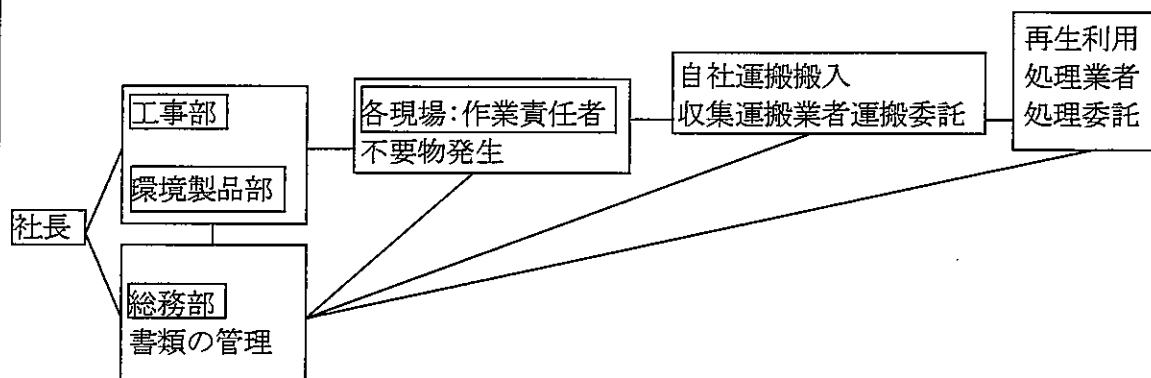
電話番号 076-277-1101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中島建設株式会社
事業場の所在地	石川県能美郡川北町字橋レ103
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業・土木工事業 コンクリートブロック製造
② 事業の規模	元請完成工事高 5.8億円(令和4年度) コンクリートブロック製造 0.9億円(令和4年度)
③ 従業員数	25人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事現場→産業廃棄物発生→自社・収集運搬業者→処理業者委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	1200.92 t	t
	(これまでに実施した取組) 4年度は完成工事が増加したため排出量も増加した。造成工事、河川工事、道路工事を忠実に施工するには抑制は無理である。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	1,500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 5年度は前期よりの仕掛工事が少なく排出量も予想しがたいが、特に産業廃棄物の発生量は、施工工程により多少の減少が見込まれる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物はできるだけ分別するように心がける。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くずは事務所に箱を置き、いっぱいになったらすぐに廃品回収業に渡す。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1200.92 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	307.5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	892.42 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・建設汚泥はすべて優良認定処理業者へ委託した。 ・建設混合廃棄物に関しては、できる限り分別するようにした。 ・コンクリート製造過程での不良品の発生を抑えた。 		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1,500 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現場で発生する紙くずは、できるだけ本社事務所に持ってきて、廃品回収に渡すように協力する。			
※事務処理欄			

【前年度(4年度)実績】

産業廃棄物の種類	単位 t											
	建設汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	がれき類(コンクリートくず)	がれき類(アスファルトくず)	木くず	紙くず	建設混合	がれき類(その他)	廃石綿等	合計
全処理委託量	1.43	26.69	4.41	83.05	866.2	165.2	52.75	0.33	0.86			1200.92
優良認定処理業者への処理委託量	1.43	21.51			208.88	50.65	25.03					307.5
再生利用業者への処理委託量		5.18	4.41	83.05	657.32	114.55	27.72	0.33	0.86			893.42
認定熱回収業者への処理委託量												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量												

①現状

【目標】

産業廃棄物の種類	単位 t											
	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	がれき類(コンクリートくず)	がれき類(アスファルトくず)	木くず	紙くず	建設混合	がれき類(その他)	廃石綿等	合計
全処理委託量	30	30	5	100	800	300	182	1	2	50	0	1500
優良認定処理業者への処理委託量	30	20			300	100	50					500
再生利用業者への処理委託量		10	5	100	500	200	132	1	2	50	0	1000
認定熱回収業者への処理委託量												
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量												

②計画

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。